

杜の家せんだい

ニュースレター



Vol. 20

2025年5月号

【発行】

仙台市家庭教育支援チーム
杜の家せんだい

第19回セミナーを開催しました。

杜の家せんだい主催 第19回セミナーは「親子にとって必要なこと」と題して、「親子の居場所 Clover」の代表である遠藤さち子先生を講師に招いて学びの場を持ちました。

子どもに不登校の理由を聞くとうまく答えられないことが多く、経験者の話では「子ども達が状況を言語化できるのは10年後」であり、原因探しはかならずしも重要ではないとのこと。また、

「ありのままのあなたでいい」と伝えることが大切で「ありのままの自分でいられる場所」が必要とされているとのことでした。そして「子どもたちは変わる力を持っているので信じて待つ事が重要」という言葉が心に残りました。

講義の後の質疑応答では参加者の皆様から多くの質問や実体験のお話をして頂き、参加者の皆さまの関心の高さが伺えました。



参加者の皆様の声

【本日の講演内容についての感想】

- ◆「未来に絶望しない場所をつくる」「不登校になっても大丈夫な社会を作る」という発想がとても新鮮でした。
- ◆「不登校は悪ではない」という考え方は不登校の子を持つ親の想いを救うと感じました。
- ◆子どもが自分の状態を言語化出来るのは10年後という内容が本当に心に残り、親として安心出来ました。
- ◆不登校になった原因を探って解決させようとしても難しく、子どもが自分から動き始めたことには頑張れる傾向がある事が理解出来ました。
- ◆子ども達が元気になって行く場所・心のよりどころがある事はとても大切であると思います。本当に心のお守りですね。
- ◆一人でも理解してくれる人がいれば子ども達は変わる力を持っている。「信じて待ち続ける」事が大切だと感じた。
- ◆「不登校が減らないのなら不登校になってもいい社会を造る事が大切」という発想の転換に驚かされました。
- ◆「命」が一番大切であり、子ども達が安心・安全に生活出来る環境をつくる事が大切だと思いました。
- ◆子ども達に寄り添うことがとても大切だと思いました。
- ◆学校の意識がまだまだ進歩していないと感じました。大人の考え方・受け止め方が変わっていけるように、学校での講演等を通して意識改革する事が必要だと思います。
- ◆心のSOSに対して体が動かなくなって休まざるを得ない状況に陥った際に、どの様な支援が必要となるのかを詳しく知る事が出来ました。

次回セミナーのご案内

次回のセミナーは、ただ今企画中です。

日程や内容等が決まりましたら、メルマガ及びホームページにて告知致します。

◆メルマガのご案内

「杜の家せんだい」ではメルマガ「まぐまぐ！」を利用したメールマガジンを配信しております。このメルマガでは私たち「仙台市家庭教育支援チーム 杜の家せんだい」主催の家庭教育セミナーのご案内のほか、当チーム主催のイベント情報、家庭とくらしのお役立ち情報などを発信して参ります。メルマガへの登録・変更・解除はいつでも自由に行えますので、お気軽にご登録下さい。

登録・解除はこちらでお願いします。↓
<http://www.mag2.com/m/0001681019.html>